

# ほのけもん

198 メタボン



## 今月の表紙

### 行列のできる『ふれあい鍋』

快晴に恵まれ、第20回目を迎えた『ふれあいフェスタ in おおさき』

毎年恒例・行列のできる鍋として名物となった『ふれあい鍋(豚汁)』には長蛇の列ができ、来場者らを大崎の『食』で温めました。

## 薩摩郷句 兼題『昼』

雨模様い昼飯しやく呑み野良い走つ

(唱) 昼飯よつかも 畑が大事じゃ

上村牛歩

誕生祝施設ちや昼かい唄踊い

(唱) ハッピーバスディち 爺さんも笑つ

諸木小春

昼飯の牛丼すいも怪し肉

(唱) 何も信用 出来ん世いなつ

植村昭子

昼や一人奥様あコタツでテレビ番

(唱) 寝たい転たい 暢気な主婦業

北村虎王

昼の焼酎コップ一杯で酔くろつ

(唱) 真つ赤顔れなつ 転覆い反つ

一見愚楽満

## 大崎短歌会 兼題『文化祭』

文化祭ま近くなれば清書して提出せんと励みし日あり

内田ちどり

文化祭の展示作品心こめ清書しました「家康公遺訓」

穂園芳江

花月吟流るる中をしすしと舞台上に花を活けし日思う

宮原のり

大正琴唱歌に始まり演歌まで文化祭出場十回となり

兄玉チツ

文化祭多くの人の力作を拝見しつつ時を過ごしぬ

伊達洋子

## 大崎俳句会

椋鳥の大群飛ぶや夕暮るる

坂元つる子

山積みの乾草ロール秋の雨

溝口 稔

いわし雲漁船織りなす港町

宮脇洋子

客も去り灯消えし盆座敷

内村美恵子

夕映えの噴く島過る鶴一羽

折田スズ

天高し駅伝の女胸光る

宮下のし

廃校の跡何もなき野菊かな

益倉睦美

## 人権啓発シリーズ

### 性的少数者と人権

性同一性障害とは、生物学的な性『からだの性』と、自分の性をどう認識するかという『心の性』が一致しない状態をさします。性同一性障がい者は、日常生活において奇異な目で見られるなど精神的な苦痛を受けたり、社会の無理解や偏見のため不利益や差別を受けている状況にあります。私たちは、性に対する多様なあり方を認識し、理解を深めることが必要です。